

S I P 第 3 期「人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」  
社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 6 年 5 月 8 日  
人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備  
プログラムディレクター 山海 嘉之

今般、人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備においては、公募による研究開発機関の決定、課題実施体制及び評価体制の決定に対応するため、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更点は以下のとおり。

1. II. 社会実装に向けた戦略

ユースケースイメージ案を設定していたが、研究開発の進捗及びピアレビュー等の意見を踏まえてユースケースの分野の追加、ユースケースのプライオリティの変更、目標の具体化が進んだため、ミッション到達に向けたシナリオの記載を更新した。

2. III. 研究開発計画

研究開発責任者、研究開発機関を決定したこと、また研究開発の進捗に伴い、実施方針、個別の研究開発テーマ（ユースケース、実施内容、研究実施体制、研究開発に係る工程表、予算配分額、過年度までの進捗状況）の記載を更新した。

3. IV. 課題マネジメント・協力連携体制

課題マネジメント体制を決定したことに伴い、研究推進法人・PM、SIP 課題間連携の記載を更新した。

以上